



2020年5月21日

各 位

会社名 日新製糖株式会社
代表者名 代表取締役社長 森田 裕
(コード番号 2117 東証第一部)
問合せ先 財務部長 大場 健司
(TEL. 03-3668-1293)

連結子会社における固定資産減損損失、関係会社株式評価損および 投資有価証券評価損の計上ならびに個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）において、下記のとおり連結財務諸表において固定資産にかかる減損損失を計上するとともに、個別財務諸表において子会社株式にかかる関係会社株式評価損および投資有価証券評価損を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、個別業績の前期実績との差異および参考情報として連結業績予想と実績との差異についてもあわせてお知らせいたします。

記

1. 連結子会社における固定資産減損（連結財務諸表）

連結子会社（(株)ドゥ・スポーツプラザ、(株)エヌエーシーシステムおよびツキオカフィルム製菓(株)）が保有する固定資産について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等を受け、将来の利益計画の見直しを行った結果、減損損失1,047百万円を計上いたしました。

2. 関係会社株式評価損（個別財務諸表）

上記子会社が減損損失を計上したことに伴い、当社が保有する子会社株式（(株)エヌエーシーシステムおよびツキオカフィルム製菓(株)）について、関係会社株式評価損1,649百万円を計上いたしました。なお、当該関係会社株式評価損は、連結財務諸表上では消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

3. 投資有価証券評価損（連結財務諸表および個別財務諸表）

タイの砂糖製造販売大手 Kaset Thai International Sugar Corporation Public Company Limited（カセタイ）株式の市場価格が、干ばつなどを原因とした業績悪化観測により同国の他の製糖会社と同様に著しく下落したことから、その持株会社株式（時価のない投資有価証券）について、投資有価証券評価損938百万円を計上いたしました。

なお、当該投資有価証券評価損は、連結財務諸表においてはその他の包括利益において認識することから、連結損益計算書に与える影響はありません。

4. 連結業績予想と実績との差異【ご参考】

2020年3月期の連結業績予想と実績との差異

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益 (百万円)	基本的 1株当たり 当期利益 (円 銭)
前回発表予想 (A) (2020年2月4日)	48,000	3,200	3,500	2,500	113.23
当期実績 (B) (2020年3月期)	47,809	2,858	3,168	2,173	98.43
増減額 (B-A)	△190	△341	△331	△326	—
増減率 (%)	△0.4	△10.7	△9.5	△13.1	—
前期実績 (2019年3月期)	47,829	3,356	3,585	2,561	116.01

※当期より国際財務報告基準 (I F R S) を任意適用しており、前期実績についても I F R S に準拠した数値としております。

5. 個別業績の前期実績との差異

当社は、個別業績予想については重要性の観点から公表を行っておりませんが、2020年3月期の個別業績について以下のとおり前期実績との差異が発生いたしました。

(1) 2020年3月期個別業績と前期実績との差異

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前期実績 (A) (2019年3月期)	43,446	2,799	3,007	2,203	99.80
当期実績 (B) (2020年3月期)	42,187	3,357	3,552	△100	△4.56
増減額 (B-A)	△1,259	557	544	△2,304	—
増減率 (%)	△2.9	19.9	18.1	—	—

(2) 差異の理由

主に「2. 関係会社株式評価損」および「3. 投資有価証券評価損」により、前期実績を下回りました。

以 上